

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 7月13日 (17:30~19:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	8人	1人	人	12人

前回の改善計画	
②新規利用者様の事業所プランは暫定とし、申し送り簿別紙に綴り、実際関わった職員が、感じたことを記入していく。それを基に1ヶ月後にケアマネと個別担当で話し合い、カンファレンスで周知させる。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
利用決定後、暫定でサービス内容の作成は行なえている。関わった職員もそれぞれに事実を台帳に記載しており、改善計画通りにできている。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	8			12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	10			12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	5	7			12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	10	1		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
③訪問や通い時には本人と積極的にコミュニケーションをとり、声かけもできている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
④初めて会った利用者様のご家族に対して、きちんと挨拶をしていないことがある。送迎時、確認事項を気にするあまり、利用者のご家族と向き合っていないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
④新人職員は挨拶をする習慣をつけ、確認事項を見ながら繰り返し送迎に慣れていく。新人研修や部門別研修のプログラムを整理する。「新人教育計画(1)」「業務習得状況チェックリスト」「新人教育「業務指導のポイント」の「接遇・態度」の項目を細かく具体的に作成し直していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 7月13日 (17:30~19:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	7人	4人	人	12人

前回の改善計画
④本件に対しての担当割りをして、スケジュールを見直し、申し送り時間の検討を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果
2ヶ月に1回担当者がケース記録の見直しを行っている。また、他職員からの言葉があるたびに見直し、変更を行っている。
平成31年3月10日より朝礼を設け、その日のサービス提供の確認を行なうようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	9	1		12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	9	1		12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	10	1		12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		6	6		12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①ケアプラン立案～モニタリングを通し、共有をし、かかわりが持てている。
②サービス支援計画を台帳にファイルしてあり、記録をする時に見るができるようになっている為、当面の目標を確認する事ができ把握できている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
④関わった(実践した)内容の振り返りや、次の対応に活かしていない。
本人の情報や実践した内容の振り返りができていないことから、前回申し送り時間検討の改善計画があがったが、そもそも平成31年3月10日～の朝礼は、その日の提供サービスの確認目的で朝礼が設けられた為に、当初の計画である「実践した内容の振り返り次の対応に活かす」についてまで至っていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
④前回の改善計画を継続し、担当割りをしてより具体化していく。
1. 朝礼にて「本人の目標 (ゴール)」「～したい」の意識付けを行う。
2. ケース記録の「ケアプランの支援経過」にて記録を行う。
3. 当日申し送り時(ミーティング)にそれを基に発言、振り返る。
4. 次の対応に活かしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 7月13日 (17:30~19:00)

3. 日常生活の支援

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	1人	人	12人

前回の改善計画
③言語化できていないと感じた人はきちんと発言し、表面化して、ケアマネと個別担当とでミニカンファレンスの必要性を話し合い、必要なら随時開催する。そしてそれまでになぜ議題に上がっているのかを各々が考え、チームとして言語化できるようにする時間を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果
課題を表面化し、カンファレンスで検討を行う手順が出来ている。情報共有が不十分な場合も、ミニカンファレンスを開催しており、改善計画通りに出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		4	8		12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	6			12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		11	1		12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	8			12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	9			12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
②本人の状況に合わせ、食事形態を変更したり、入浴・排泄等において自立支援介護を行っている為、基礎的な介護はできている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①今の暮らしについてはアセスメントできても、以前の暮らしを知る事は、本人の記憶の問題や家族・知人の有無もあり、難しいところがある。また、個人情報シートにて以前の暮らしを把握することになっているが、職員によっては全利用者のシートを読み込むこともなく、ばらつきがある。そのため「以前の暮らし方」を10個以上は把握できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①本件に対して、「事業所自己評価改善計画表」にて担当割りをして、個人情報シートの様式を見直し、「以前の暮らし方」を10個以上可視化することで把握しやすくする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 7月13日 (17:30~19:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	2人	人	12人

前回の改善計画	
③あまり深く聞きすぎるとプライバシーの問題もあるので、支援するにあたって、ある程度知っておいた方が良いと思う程度で、意識をもって聞き取ったり、見直しをし、「個人情報シート」と「私の暮らしまとめシート」を記入していく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
ケアプラン更新の時に見直し、更新を行い毎年4月にも更新を行っている。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		11	1		12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れぬように支援していますか?		12			12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		10	2		12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		11	1		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
②	可能な限り在宅生活が継続できるよう、地域との関係が切れぬよう、民生委員や資源等を活用しケアマネジメントされている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
③	本人のこれまでの生活スタイル、人間関係、事業所に接していない時間に本人がどのように過ごしているかは、個人情報シートにて把握することになっているが、シートを読み込む時間については、個々の職員に任されている為、全利用者のシートを読み込んでいたとは言えない。また、更新しなくても問題になる事は無く、二の次になる傾向がある為、更新も十分とは言えない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
③「3. 日常生活の支援」と同様に、「事業所自己評価改善計画表」にて担当割りをし、個人情報シートを読み込みやすい様式に見直し、可能な限り簡素化する。ケアプラン更新時には、カンファレンスにて個別担当ではなく司会者が読み上げることにより、担当職員やケアマネ以外の職員も関わり、職員全員が把握できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 7月13日 (17:30~19:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	10人	1人	人	12人

前回の改善計画
④職員各々が、その日その時の本人の状態・ニーズを知ろうという意識をもって接する。

前回の改善計画に対する取組み結果
迎え時に聞き取った情報はリーダーに伝え、台帳に記入し、必要であれば申し送り簿にも記入している。職員は台帳と申し送り簿に常に目を通すよう心掛けている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	10		1	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	6	1		12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3	9			12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	10			12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
③日々の関わりから、本人の変化に気付いた職員は即座にリーダーに報告したり、申し送り時に発言したり、台帳や申し送り簿に記入するなどして、職員間で共有しているので、その日、その時の本人の状態、ニーズに合わせた柔軟な支援ができています

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
②支援の初期のままのサービス内容で、内容が増えていく事はあっても、一回提供し始めたことや、また、利用者側から強く希望されると、サービス量を減らしたり無くしたりする事が難しく、必要な量以上の過剰な支援になっている事もあり、妥当適切とは言えない。
本人のストレンクス (強み、可能性) の確認ができておらず、初期支援のまま行ってしまい、「悪い変化」には気づけても「良い変化」に着目できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
②知りえたストレンクス (強み、可能性) は申し送りやカンファレンスで共有する。そして妥当適切ではないと感じた際は、「カンファレンス検討ケースのアンケート用紙」を今まで以上に活用して、ミーティングやカンファレンスにて全職員で見直し、検討した上で本人・家族に説明する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年8月29日 (17:30~18:20)

6. 連携・協働

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	なし
前回の改善計画に対する取組み結果	なし

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		11			11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	10			11
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	10			11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	10			11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①担当者会議を行う時は利用している事業者の方を交えて話し合いを行っている。 ②市のサービス事業者会議や地域ケア会議に出席し情報交換、話し合いを行っている。 ③市の福祉祭り、元中子自主防災会等に参加し、交流を図っている。 ④元中子子供みこし、小千谷祭りの万灯により子ども達や地域住民が事業所を訪れている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
なし	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
なし	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年8月29日(17:30~18:20)

7. 運営

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	8人	人	人	11人

前回の改善計画
防災については重要であり、関心も高いので、福祉避難所に立候補する事を検討していく。また、地域と協働した取組みについては、内容が漠然としていてわからないので、具体的に何があるのかを調べる。

前回の改善計画に対する取組み結果
・管理者が概要を確認し、1月度のカンファレンスにて職員へ説明、立候補するかを検討を行い、H31.3.25小千谷市と協定を締結した。
・地域と協働した取組みについて全職員にアンケートを取り、まとめた物をカンファレンスで報告した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		11			11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		11			11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		11			11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	10			11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
④地域に必要とされる拠点である為に、福祉避難所に立候補し、平成31年3月25日、市と協定締結を行った。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
なし

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
なし

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年8月29日(17:30~18:20)

8. 質を向上するための取組み

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	なし
前回の改善計画に対する取組み結果	なし

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	7			11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	10			11
③	地域連絡会に参加していますか	2	9			11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	9	1		11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①研修係があり、職場内外の研修日程を把握したり、必要な研修を計画、実施して、職員への声かけも行っている。また、新人職員へのOJTは、力量に合わせた進捗で生まれ、定期的に相互で振り返りがされており、新人職員が安心して業務を行い、利用者に関われるよう実施している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
④ヒヤリハットの振り返り等取組みはなされているが、リスクマネジメントについての園内研修には勤務上参加出来ない人もいる為、十分とは言えない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
④KYTやリスクマネジメントについての研修を、研修係が中心となって取りまとめ定期的に行うよう計画する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年8月29日(17:30~18:20)

9. 人権・プライバシー

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	人	人	11人

前回の改善計画

- ・プライバシーに反する場面を見かけたら、お互いに注意し合う。またプライバシーについては基本的なことである為、プライバシーについて学び、全職員が同じ意識にまで高められるようにする。
- ・薬袋は名前がわからないように処理する。※具体策は今後検討する。

前回の改善計画に対する取組み結果

常にプライバシーについて意識している。利用者様についての話は、離れた場所にて行っている。トイレの声かけは小さな声です、離れた所に移動してからするなど、配慮して行なっている。
3月のカンファレンスにてプライバシーについての学習会を職員全員で行なった。
名前を黒く塗りつぶすか、箱に入れて名前がわからない様配慮して捨てている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	5	6			11
②	虐待は行われていない	5	6			11
③	プライバシーが守られている	1	10			11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	7	3		11
⑤	適正な個人情報の管理ができている		11			11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①②身体拘束や虐待について研修会等でも学んでおり、ひうの家全体で周知ができている。
③プライバシーに配慮した声かけができるようになった。学習会も行っており、記名のある薬袋の捨て方もしっかり対応できている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

④成年後見制度の活用が必要な利用者もいるように思うが、身内の方や地域の方の理解不足やアプローチの方法がわからない為、制度の活用までには至っていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

④まずは職員が成年後見制度について勉強し、制度を利用する上でのメリット、デメリットについての理解を深める。また事例を基にアプローチ方法を学ぶ為の研修を、研修係が中心となって取りまとめ、計画する。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	長岡老人福祉協会	代表者	田宮恵子	法人・事業所の特徴	(法人) 家庭での生活が困難な高齢者の施設内での各種援助はもちろん家庭で生活されている高齢者やその家族が必要とする支援をその状況に応じて提供することにより一人ひとりが地域の中で安心して生活していけるようにお手伝いする総合福祉施設。 (事業所) 住み慣れた地域で生活を続けたいという利用者の願いを実現するために地域での状況やニーズに応じて「通い」「泊まり」「訪問」を柔軟に組合せてサービスを提供します。2階に高齢者向けアパートがあり2階に住みながら事業所のサービスを受けることも可能です。
事業所名	ひうの家	管理者	高野敏夫		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0.5人	3人	1人	人	人	0.5人	人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 概ね良い評価をいただいている。 事業所評価改善計画表の中で具体的な取組みとして始めたものは、改善点が無いか振り返りをしていく。 	<p>事業所評価改善計画表の中で取組み始めたものは、担当者により経過確認をし、カンファレンス後などの時間を使って全員で振り返りを行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 利用者にとってはこの評価は難しいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 概ね良い評価を頂いているが、運営推進会議の委員になっている利用者様から、事業所を評価するのは難しいとの意見もあった為、今後委員選定の見直しを検討していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> No.1 具体的にどのような工夫がされると入りやすいのかをリサーチする。 No.4 日中は施錠せず、夜間は防犯の為施錠している。日中についても利用者の安全の為に入口に施錠する際は、「インターホンを押してください。」等と書かれた物を用意し掲示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的にどのような工夫がされると入りやすいのかを、今後広報係がリサーチをしていく。(案：掲示物を工夫する。案内板を作る。推進会議でどうすれば入りやすいか聞いてみる。協力してくれるような家族の方にアンケート調査を行う。広報誌を回覧板などで回す。など) 日中、入口を施錠することはあまりなく、今すぐ必要とは思わない為、掲示するものは用意していない。今後また必要となった時に検討することとする。 	<p>0.利用者としてはわからない。しかし職員は心を一つにしているのではないかと想像している。</p> <p>1.インターホンがあるので、職員を呼びやすい。インターホンが無い事業所もあり、大声で呼ぶ必要もないので良いと思う。</p> <p>1.用がないとなかなか入りづらいかも。かもしれない。</p> <p>1.入りづらいとも思わないが、駐車場や玄関、入り口がわかりにくいと思う。</p> <p>2.居心地は良い。私にとっては水曜日の通所が一番楽しみ、満点である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境は職員の対応に尽きる。対応については、職員全員良いよう 	<p>No.1 今後も、具体的にどのような工夫がされると入りやすいのかを、広報係がリサーチをしていく。(案：『インターホンを押してください。』の掲示をもっとわかりやすくする、等)</p> <p>No.1 駐車場にコーンを置き『ひうの家来客用』等と表示しわかりやすくする。</p> <p>No.1 「入り口がわかりにくい」については、玄関に看板設置やポスターを掲示し対策をとってきた。それでも多くはないがまれに間違って来られる方もいる為、その時は道案内を行う等し、今後も丁寧な対応を行っていく。</p>

			<p>に接していると思う。そうでないとひうの家は使わない。職員には責任がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続してサービス利用されている方が多いのは良いのではないか？ ・利用者代表が会議で「良くしてもらっている」との意見があるので、それが一番わかりやすいと思う。良い空間、関わりが持っているのではないか。 	
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・No.2 引き続き広報活動を継続する。広報物品の把握と管理をし易くする為、係を設け、ポスターの貼りっぱなし防止やパンフレットの補充を行う。 ・事業所の場所がわからないという問い合わせがあったり、たんぼぼやケアハウスひうへの来客が間違っ訪れることがある為、道案内や看板について年度内にカンファレンス等を利用して全員で検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報係を中心に、ポスターを回収したり、パンフレットの補充をしている。 ・6/25 カンファレンスにて検討を行い、広報係が道案内の掲示物を作成することとなる。8月にケアハウスへの案内文を玄関に貼り出した。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.挨拶は大切です。できていると思います。 2.元中子の方はひうの家を知っていると思う。 2.小栗田では全然知られていない。場所を聞かれるが元中子も知らない。 3.相談しやすいと思うが、広報誌やポスターで、もう少し気軽に相談できる場所であることを呼びかけたらどうか。Bの1「家族や地域の方が事業所に入りやすい工夫がされていますか？」にも繋がるのではないか？ 3.込み入った話し（親戚関係等）までは相談しづらい、そこまで深い関係ではない。 <p>No.2.3 近隣住民の苦情に対応する為にも広報誌を近隣住宅にポスティングして、事業所ではどんな活動をしているのかを理解してもらい、その広報誌にNo.3の「何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？」に対応する手紙を添えてみたらどうか？</p>	<p>No.2 ひうの家を知って頂けるように今後も広報係を中心に広報活動をしていく。広報わらびを回覧板で回してもらったり、近隣住宅にポスティングして、事業所ではどんな活動をしているのかを理解してもらう。</p> <p>No.3 事業所がどんな所かわからないと「気軽に」相談は難しいので、随時見学を受け付ける事や登録利用者以外の利用者の方でも、何か困りごと等があればいつでも相談できる場所である事を、広報誌やポスターに加筆する。</p>

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね良い評価をいただいている。 ・No.4 引き続き広報活動を行い、利用者以外の心配な方にも関わられるよう積極的に地域に出向いていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者で高齢者世帯の方には、本人だけでなく、そのご家族にも訪問時など困りごとや体調の相談に乗り、顔なじみの関係づくりをしている。 ・広報係が、元中子公会堂、セブンイレブン小千谷東店のポスターの交換を行った。また、ひうの家の玄関にもポスターを貼った。 	<ol style="list-style-type: none"> 2.小栗田地域の人とは会議していません。 3.小栗田のいきいきサロンには行っている。その他のイベントは参加していない。 4.「地域に出向いて」であるから、事業所で待っているのではなく、事業所からいきいきサロンや福祉会の集まりに出向いて事業所のアピールも兼ねての説明会を実施するのはどうか？その中から自然と「利用者以外のご近所の心配な方」の話がでてくると思う。また、説明会をすることで職員のスキルアップにも繋がるのではないか。 	<p>No.2 広報係を中心にまずは現登録利用者が参加しているいきいきサロンに出向き、事業所の紹介や説明を始めていくことを検討する。現登録利用者への支援をおさなりにすることはできない為、年に1.2回とし進めていく。</p> <p>No.4 地域に出向いて行く中で、「利用者以外のご近所の心配な方」に関してもアンテナを張り、話しが出てきた場合は対応を行い、運営推進会議でも報告と事例検討を行っていく。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の改善計画を継続していく。 ・No.2 地域の心配な方等の事例検討が必要になった場合は、プライバシーを伏せて検討を行う。 ・No.3 事業所と協働する地域での取り組みがあれば、会議で取り上げていく。 ・上記2つの件で会議案内に明記し、議題があれば連絡してもらおう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、対象となる方がいない為、必要時には検討を行っていく。 ・議題についても、会議案内に明記し、呼びかけを行っている。 	<ol style="list-style-type: none"> 0.議題があれば連絡、取り上げることになっているが、そもそも心配な方等と協働する地域での取り組みが必要になった場合を運営推進会議の委員に限定してしまうと元中子地域くらいしか上がってこない。今まで一度も上がったこともなく、消化不良である。取り組んだとは言えないと感じる。 2.D項目4であったように、事業所で地域に出向いての説明会を実施し、そこで出てきた心配事等があればそれを事例検討してはどうか？また、事例検討というと大がかりなものを考えてしまうが、プライバシーを伏せるものであるし、文書も用意しないようなもので小さなことで構わないのではないか？ 	<p>No.0No.2 引き続き会議案内に明記し、元中子地域での事例検討や地域での取り組みがあれば行っていく。元中子地域に限定してしまわないよう、その他地区の民生委員や小千谷市地域支え合い組織との交流を持ち、その中から取り組むべき事例が出てきたら運営推進会議で取り上げていく。</p>

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>・No.1、No.4 引き続き防災訓練（火災・風水害・地震等）を重ね、防災訓練の様子を広報誌に載せるなどし、事業所の防災計画を知って頂けるようにしていく。</p>	<p>・日中、夜間想定を想定した防災訓練を実施し、その訓練風景について第 117 号広報誌に記載する予定。</p>	<p>1.内容まで全部知っているわけではないが、計画があることは知っている。 ・頼りになってもらわなくては困る。</p>	<p>No.1 今後も事業所防災訓練（火災・風水害・地震等）を重ね、地域の防災訓練にも参加、参画していく。また防災訓練の様子を写真を広報誌に載せるなどし、事業所の防災計画を知って頂けるようにしていく。</p>
----------------------------	--	---	--	--